

2007年度 研究の国際化推進プログラム「多様な国際連携スタートアップ」種目 報告書

研究代表者	所属機関・職名： 情報理工学部・教授 氏名： 西尾 信彦
研究テーマ	ユーザ状況認識と Google サービスへの適用(予定)

I. 国際連携先の概要

提案機関	(機関名) ユビキタス環境研究室
・プロジェクト名	(プロジェクト名) ユーザ状況認識と Google サービスへの適用(予定)
共同研究機関	(名称) Google Inc. (代表者) William M. Coughran, Jr.

II. 研究計画の概要

今回の国際連携スタートアップの目的・狙い、意義・必要性について、簡潔、明瞭に記入してください。

Google Inc. がインターネット上に提供する様々なサービスの中から特に mobile や Geo 関連のサービスをサポートできるようなユビキタス・センシング技術開発を行なう。これにより、同社が現在提供している Google Maps を始めとして、android に代表される携帯電話のプラットフォーム開発への技術連携を目指す。同社は今後、特に日本において携帯電話ベースのサービス提供に注力している。

III. 研究成果の概要

今回の国際連携スタートアップで得られた成果、目標達成度、今後の展開計画について、ポイントを絞り具体的、簡潔に記入してください。

研究代表者は学外研究 A を活用して、2007年10月より2008年9月まで Google Inc. 本社にて研究開発を行なっている。2008年3月24日に Google Inc. 本社にて研究室学生らと Google 本社のソフトウェアエンジニアを交えたワークショップを行なった。また、Google Inc. の日本法人であるグーグル株式会社とも常時共同開発を行なっており、同社へおもむいての打合せを今年度は2度行なっている。更に外留終了後の研究開発連携関係の継続のための検討作業を Google Maps の開発チームおよび android の開発チームと行なっており、2008年度中に共同研究契約を行なう計画で、今年度はほぼ目標を達成できる見込みである。

本ページはホームページに公開いたします。1ページに収めてください。